



Create Hope in the World

『世界に希望を生み出そう』

2023-2024年度RIテーマ 会長 ゴードン R. マッキナリー

■ 点鐘/18:00 ■ 例会場/山形グランドホテル:アドリア ■ 出席報告/45名(会員数 84名)

## 第1部:ガバナー公式訪問例会

### 会長メッセージ

## 「平成元年のフットボール」

G.R.マッキナリー会長はスコットランドの医師ですが、私がスコットランドとロータリーで想起したのはこれでした。平成元年(1989年)5月28日、東京の秩父宮ラグビー場で、ラグビー日本代表がスコットランド代表を28対24で破った試合で、それを私は観戦していました。

当時、ラグビーは大学も社会人も大変人気がありましたが、日本代表は国際試合でほとんど勝てない時期が続きました。ラグビーは英国発祥なので特にイギリス連邦のチームが圧倒的に強く日本代表はまったく歯が立ちませんでした。それがこの試合でその一角であるスコットランドに勝ったのですから、日本ラグビーにとっては今に語り継がれる歴史的勝利でした。

ラグビーには独自の精神・哲学があり、日本では試合終了を「ノーサイド」と呼び、勝者も敗者も試合が終わればフラットな仲間に戻るとするのはご存知の通りです。ラグビー部OBの友人は、「普通のスポーツは得点を決めた選手がガッツポーズをするが、ラグビーではトライを決めても絶対にやらない。」と言っていました。

今はスポーツの商業化・エンタメ化が進み、ラグビーでもガッツ

ポーズが常態化している様ですが、今改めて動画で見ると、私たち観客やテレビ中継は大騒ぎでしたが、選手たちは喜びを爆発させることなく、敗者であるスコットランド代表を讃えグラウンドから送り出しています。



田中 達彦 会長

す。彼らがそこで示したのは、相手に対する「リスペクト」(感謝・敬意)、それも「勝者だからこそ相手に示さねばならないリスペクト」だったと思います。

今日お越しの伊藤ガバナーはロータリーの「奉仕の理念」というのは「『他人を思いやる心』ではないか」とおっしゃっていますが、まさに相手に対するリスペクトというラグビーの精神に相通じるものがあるのではないかと思います、この話をしました。

### ガバナーメッセージ

## 「RI年度テーマ・地区基本方針と地区大会について」

ガバナーの伊藤三之です。例年のガバナー公式訪問は、一つひとつのクラブの昼例会の中で卓話をさせていただいておりましたが、私は、できれば懇親会にも参加して、酒を酌み交わしながらロータリーを語りたいたわがまを申し上げましたところ、このように盛大な例会と歓迎会にお招きいただき、大変光栄です。

G.マッキナリー会長はスコットランドの方ですが、年度テーマは、「CREATE HOPE in the WORLD 世界に希望を生み出そう」です。二つの時代背景があります。一つは、コロナ禍によって、社会が、そして個人が分断され、人びとの心の平穩、平和が崩れていることです。マッキナリー会長が、「メンタルヘルス」の重要性を説くのもそのためです。二つめは、ロシアによるウクライナ侵攻です。私たちは、平和というのは実は当たり前のことではなく、相当に努力しなければすぐに崩れ去ってしまうことを実感しました。マッキナリー会長は、世界に、地域に、そして人びとの心に



国際ロータリー 第2800地区  
ガバナー 伊藤 三之 さん

平和を取り戻そう、そのためには、いろいろな場所、いろいろな事、いろいろな事を見出していこう、世界に希望を生み出そう、と呼びかけているのです。

私は、年度テーマを受けて、第2800

地区の地区基本方針を「ロータリーを語ろう そして ロータリーを楽しもう」としました。いろいろな場所、いろいろな事、いろいろな事に見出していこう、という想いを、私たちがロータリアンとして実現していくためには、これまでなかった何かをゼロベースで作出すのではなく、基本に立ち返り、私たちが普段関わっている一つひとつのロータリー活動をブラッシュアップすることが近道だと考えたのです。自分がやっているロータリー活動の意味を、ねらいを、背景を、そしてその活動の相手方の想いを、よくよく考えてみる、もう少しの工夫をすることで、もっと効果が出る、喜んでいただける。そのために、もっと「ロータリーを語りましょう」、そうすれば、もっとロータリーが身近になり、理解でき、「ロータリーが楽しく」なります。逆から言えば、分からないまま何かをやっているのではつまらないということです。「ストレスのないロータリーを目指しましょう」と言うこともできます。

私は、11月12日に開催される地区大会の大懇親会に關して、三つの約束をします。一つめは、冒頭の挨拶は私がやって、そのまま乾杯します。つまり開会から3分以内で宴会を始めます。二つめは、冒頭から1時間以内で満足できる酒、料理の提供、アトラクションをします。遠くから参加され、1時間程度で会場を後にしなければならない方々にも満足してもらいたいからです。三つめは、地区内ロータリアンの13酒蔵の酒を提供します。こも樽を最上川の流れをイメージして並べて、その酒蔵、関係するロータリアン、酒質などを紹介します。これが「職業奉仕」の一つの形だと考えるからです。

一年間、どうぞよろしくお願いたします。

四つのテスト 真実かどうか みんなに公平か 好意と友情を深めるか みんなのためになるかどうか

1950年8月5日 RI加盟承認 承認番号7587号(なごやな)

■ 例会/毎週水曜日12:30開会点鐘 第5週18:00開会点鐘 ■ 例会場/山形グランドホテル  
■ 事務局/山形市十日町1-1-26-2F ■ TEL:023-632-7777 ■ FAX:023-624-5200  
■ E-mail:yamagata09@rid2800.jp

ホームページはこちらから

パスワードは事務局へ  
お問合せ下さい。



## 第2部：ガバナー歓迎懇親会

### 2023-2024年度 国際ロータリー第2800地区

ガバナー 伊藤 三之 さん  
第5グループガバナー補佐 林 政俊 さん  
地区幹事 小野 和行 さん  
統括副幹事(クラブ内担当) 浅黄 敬之 さん  
統括副幹事(地区委員会担当) 富塚 充 さん



### 乾杯酒：「ふあーすと・すてっぷワイン」

社会福祉法人友愛会は障がいをお持ちの方や色々な理由でハンデを背負っている方々に働く場を提供するために、2018年に就労継続支援B型「ふあーすと・すてっぷ」を開設いたしました。メインの仕事としてワイン用のぶどうを栽培し、その方々が育てたぶどう100%使用して作ったワインです。

本日のガバナー歓迎懇親会に相応しいオンリーワンのワインで乾杯いたしました。



田中会長&伊藤ガバナー



本日の乾杯酒：友愛会ワイン「ふあーすと・すてっぷ」

### アトラクション：「ロータリアン格付けチェック」

「一流ロータリアンならば違いがわかって当然!」というテーマのもと、ワインエキスパートをお持ちの伊藤ガバナーをはじめ、一流ロータリアン7名による様々な利き酒(日本酒やワインなど)で盛り上がりました。



中締め：長谷川パストガバナー

### ニコニコ情報

- 伊藤 三之 さん (ガバナー)  
おまねきいただきありがとうございます。
- 林 政俊 さん  
伊藤2800地区ガバナーの公式訪問に同行させて頂きました。
- 野々村政昭 さん・長谷川憲治 さん  
伊藤ガバナーのご来訪を歓迎して。
- 高橋 勝幸 さん・榎森 啓 さん・桂木 宣均 さん  
伊藤三之ガバナーのご健康と、ますますのご活躍をお祈り申し上げます。
- 高橋 修 さん  
歓迎いたします。伊藤三之ガバナー!!
- 手塚 孝樹 さん  
伊藤三之ガバナーのますますのご活躍をお祈り申し上げます。そういえば先日、長男「そうしゅん」がうまれました。今後ともよろしくお祈りします。
- 田中 達彦 さん・與田 貴博 さん  
8月6日から始まる夏の甲子園の為、約一ヶ月の長期ロードとなる阪神タイガース。昨日は大勝、10対2でした。ニコニコします。
- 田中 達彦 さん・與田 貴博 さん  
伊藤ガバナーようこそ山形クラブへ。

### 編集後記

伊藤三之ガバナー(山形北RC)をお迎えし、ガバナー公式訪問例会が開催されました。会長あいさつでは、ラグビーワールドカップの開催年であることを踏まえ、ラグビーの相手をリスペクトする行動・精神がロータリーの理念と共通すること等お話をいただきました。伊藤ガバナー卓話では、地区基本方針などを熱く語りかけていただくとともに志向を凝らした取組みを進められており興味深くお話を伺うことができました。(最後のオチを含め)その後の懇親では、親睦委員の企画「格付けチェック」で全員が大いに盛り上がり、田中会長年度の結束力がさらに高まったように感じる素晴らしい機会となりました。(担当/浅井宏昌)